

熊取町公園施設長寿命化計画

平成26年7月

事業部水とみどり課

1. 都市公園整備状況

(平成25年11月末時点)

管理対象都市公園の数	管理対象都市公園の面積	一人当たり都市公園面積
96	11.40ha	2.57m ²

2. 計画期間〔平成26年度～平成35年度（10箇年）〕

3. 計画対象公園

①種別別箇所数

街区	近隣	地区	総合	運動	広域	風致	動植物	歴史	緩緑	都緑	その他	合計
94	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	96

②選定理由

熊取町は、町内のほとんどの都市公園が付近に居住する住民が利用するための街区公園であるため、全ての都市公園を対象に公園長寿命化計画を立案し、将来にわたり安全・安心にかつ安定的な公園の運営と維持管理を行うことを目的としている。

4. 計画対象公園施設

① 対象公園施設数

園路広場	修景施設	休養施設	遊戯施設	運動施設	教養施設	便益施設
371	11	138	421	4		40

管理施設	災害応急対策施設	その他	合計
1224			2209

② これまでの維持管理状況

全体の半数程度の公園が25年以上経過しているが、一部の公園を除きこれまで抜本的な施設の更新を実施していない状況にある。そのため、大多数の公園において、施設の劣化が進んでいる。

備考) 経過年数、これまでの維持管理状況、施設の劣化の可能性を記述

③ 選定理由

公園内の全施設を対象とする。

5. 健全度を把握するための点検調査結果の概要

点検調査実施時期：平成25年8月～9月

点検調査方法：目視、打診等

点検調査結果の概要：一般施設は、1割程度の施設で著しい劣化が確認されたが、大多数がおおむね健全であった。遊具は、全体の4割程度で著しい劣化が確認された。

備考) 点検調査実施時期・期間、点検調査方法、点検調査結果の概要(公園施設の健全度に関する全般的状況)を記述

6. 日常的な維持管理に関する基本的方針

日常の点検は、職員による定期的な見回りにより清掃、保守等の維持保全を行う。定期点検が必要な遊戯施設については、毎年有資格者もしくは職員による定期点検を実施し、劣化状況の把握を行う。

備考) 公園施設の種類に応じた日常定期点検毎の点検実施体制、点検方法等の基本的な方針を記述

7. 公園施設の長寿命化のための基本方針

処分制限期間を超過しかつ経年劣化が著しい一般施設及び使用停止措置となった遊戯施設は、早期に抜本的な更新を行う。また、その他の施設についても、計画的な補修、更新を進めることで安定した公園の運営管理に資する。

備考) 点検調査により把握した健全度を踏まえた、公園施設長寿命化のための基本的な方針を記述

8. 計画全体の長寿命化対策の実施効果

ライフサイクルコストの縮減額：約2,500千円(単年度あたり)

備考) ライフサイクルコストの縮減額等を記述